

# しずくしい 議会だより

No.95

2015. 10

編集 議会広報編集特別委員会

●今号の主な内容

議長あいさつ…2

9月定例会のあらまし…2

9月定例会議決結果等一覧…5

決算特別委員会…6

臨時会のあらまし…9

議会の新体制について…10

当局へ提言…12

町政を問う

一般質問 8議員が質問…13

議会へのひとこと…22

ふるさとへの便り(61)…23

雫石町へようこそ…24

●今号の表紙/まちの笑顔シリーズ

「雫石ドリームガールズ」

# 9月定例会のあらまし

## ネットで議会映像配信始まる

～一般会計補正予算(第2号)を否決～



### 9月定例会を終えて

雫石町議会議長 前田 隆雄

私と加藤眞純議員は、8月4日開催された初議会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。今後とも、雫石町議会基本条例に基づき、議会の果たすべき役割を十分認識し、中立公正な職務執行と民主的かつ円滑な議会運営に努めるとともに、当町の発展と町民福祉の推進に、最善の努力を尽くす決意でございます。

今定例会は、議員改選後の初定例会であり、一般質問では、新人議員を含め議員各位が熱心な議論がなされ、人口減少問題や地方創生対策、今冬の町道除雪事業など多方面にわたり提言がなされ

ました。

また、今回から念願でありました議会中継をインターネットで視聴することが可能となりました。本会議や決算特別委員会の様子を生中継したほか録画中継（オンデマンド）もご利用いただけますので、ご自宅のパソコンやスマートフォンなどの携帯端末で議会の様子をご覧いただきたいと思っております。

さらに、今回も10月に町内6会場で「町民と議会との懇談会」を開催する計画としています。

今後とも本町議会に対するご理解、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

平成27年度9月定例会は、改選後初定例会で9月4日から9月18日までの15日間の会期で行われました。

今回から議会の映像がネットで配信されました。尚、10日ほど遅れて録画も見ることができます。

議会では報告案件が2件、条例の一部改正案件が3件、補正予算案件が8件、人事案件が2件、その他案件が4件あり、これら計19件の内一般会計補正予算（第2号）は否決、他は原案通り可決・同意しました。

また、平成26年度各会計決算の認定案件11件を徹底審査の上、全て認定しました。そのほかに、請願が4件と陳情1件があり、うち2件を採択し、これを議員発議によりそれぞれ意見書を国および県に提出しました。

一般質問は、新人1人を含む8名が登壇し、町当局の考えをただしました。

## 一般会計補正予算第2号を否決

町有地 14ha 活用のモデルプロジェクト\*<sup>1</sup> 関連予算を含む一般会計補正予算（第2号）を、賛成7、反対8で否決しました。

否決の主な理由は14ha活用のモデルプロジェクト計画への疑問で、次の通りです。

国の助成があるからと町民ニーズも独創性もない施設を造っても、町民のためになるのかが不明瞭で、後世に付けを回すだけであると懸念されること。

さらに、何十億という大規模な計画なのに、国策に乗ることと「(仮称)雫石まちづくり会社」設立ありきで、主体となる出資会社の信用調査もなく、投資回収見通しも甘いなど、計画がおぼろげで危ういという意見が多く出されました。

\*1：「(仮称)雫石まちづくり会社」を官民で出資、設立して、沼返の未利用町有地14haに第1期～3期まで延べ4年間、合計約24億円かけて整備しようとするもの。第1期目は道路、水道、電気、排水処理施設などを整備し、サービス付高齢者住宅、ディサービスセンター、障がい者グループホームなどの施設を建設し、都市部から高齢者の移住促進をしようとするもの。2期目は就農希望者等の育成や支援をする施設など、3期目は福祉・農業のセミナー施設、図書館などを計画している。いずれも国・県からの補助金を見込んでいるものである。

補正前の額	補正額	計
89億6,532万8千円	6億7,038万4千円	96億3,571万2千円

- ▶町有地 14ha 活用のモデルプロジェクト関連予算合計
- 1億1,732万7千円
  - ・土地開発基金繰出金（14ha 町有地用） 4,996万1千円
  - ・土地利用調整事業 5,406万2千円
  - （町有地事業化推進基礎調査等業務委託料 5,100万円、まちづくり会社設立出資金 240万円他）
  - ・日本版 CCRC\*<sup>2</sup> 移住促進センター出展負担金 930万円
  - ・空き家実態調査業務委託料 400万4千円

\*2：生涯活躍のまち構想（主に都市部の高齢者を地方へ移住促進する）



一般会計補正予算（第2号）採決の様子（起立は賛成者）

### ○主な質疑

**問** 14ha 町有地のインフラ整備等に土地購入費を加えると、初期で約2億1千万円掛かることになるが、回収見込みが全く見えない。都会から高齢者を移住させるために使うより、若者を呼ぶことに使うべきでは。

**答** 国策として高齢者移住を進めているので、その施設を造ることで若者の雇用の場ができるの見込んでいる。

**問** この14haは事業者に5年間無償貸与とか、固定資産税も減免するとかしないとか、計画全体がおぼろげだ。町民の財産を無償貸与するのはおかしい。

**答** 詳細は、新しくつくる会社との契約の中で決めていきたい。

**問** この14haは農林業振興の総合施設用地として購入を議決したもので、それを承認なしで目的変更し、モデルプロジェクト強行はいかがなものか。

**答** 高齢者施設だけでなく、将来、農業用ハウス、農のインキュベーション施設\*<sup>3</sup>なども計画にある。

\*3：起業家の育成や新しいビジネスを支援する施設。

## 反対討論

### 【加藤真純】

14ha 町有地活用構想のサービス付高齢者住宅等の施設は、人口減少・少子高齢化社会という縮小化時代に郊外の陸の孤島にではなく、中心商店街、駅、役場、診療所等の周りに今あるインフラを賢く有効活用しコンパクトタウン構想で、身近に必要なものを配置する方が良い。それにより中心市街地の活性化が図られ、コミュニティの核となりえる商店街も再生される。町民のニーズもなく、ここに暮らす者が幸せにもならないことをやるべきではない。14haは、インフラ整備の不要な利活用方法を再検討した上で、「まちづくり会社」が必要なら検討すればよい。

### 【西田征洋】

除排雪事業への補正に関し、町の責任放棄という面、臨時運転手等へのやり方の手際のまずさ、そして事態解決に何も進展が見られない。本当に心を入れて頑張って町の除排雪を幾らかでも良くしようという姿勢が感じられない。町に思い直してもらうように補正予算に対し反対の意思を表明する。

## 第3号は可決

一般会計補正予算（第2号）から1億1,732万7千円（町有地14ha活用のモデルプロジェクト関連予算）を削除した補正予算（第3号）は可決されました。

補正前の額	補正額	計
79億8,763万1千円	4億799万2千円	83億9,562万3千円

▶財政調整基金積立金	5億208万5千円
▶中山間地域等直接支払い交付金	2,064万1千円
▶網張温泉ありね山荘ボイラー改修工事	2,173万円
▶除雪事業	3,948万4千円
▶町道新設改良事業	△2,300万円
▶橋梁維持、新設改良事業	△3,920万円

○主な質疑

**問** 除雪事業を当初予算の一部直営から元に戻し、一括委託に戻ただけでこれほど補正増額となるのか。

**答** 組み換えだけならほぼ同額だが、過去3カ年の除排雪委託料の平均値を参考に補正するもので、今後降雪量の多少により増減補正となる。

人 事

○教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて  
任期満了及び欠員となっていた教育委員に、上田武夫氏(再)、吉田博輝氏(新)を任命することに同意しました。

発 議

○発議第1号 私学教育の充実・発展を求める意見書の提出について

私立学校の教育諸条件の向上と保護者の経済的負担の軽減を図り、経営の健全化に資するため私学助成金の充実を求める。

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、岩手県知事

○発議第2号 教職員定数改善をはかるための平成28年度政府予算に係る意見書の提出について

子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進することを求める。

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

○発議第3号 雫石町議会会議規則の一部改正について

議会における欠席の届け出の取り扱いに関して、社会情勢などを勘案し、出産の場合の欠席の届け出について新たに規定する。

ごなりました 請願・陳情  
皆さんからの

○陳情第4号 外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情（不採択）

提出者＝小坪 慎也

国では地方税法を改正し、平成28年1月から添付書類を義務付けるなど厳しい規制を予定し、税負担の公平性を確保することとしている。また、当町には事例がない事を重視し「不採択」とした。

○請願第5号 私学教育を充実・発展させるための請願（採択）

提出者＝私学助成をすすめる岩手の会  
会長 新沼 二男

私立、公立の学費格差をなくし、生徒が学費を心配せず安心して学べる環境が必要であると意見が一致し、「採択」とした。

○請願第6号 義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願書（不採択）

提出者＝岩手県教職員組合岩手支部  
支部長 栗田 裕年

国庫負担金が2分の1から3分の1になったことにより、国の制約が緩和され、地方の実情に応じたきめ細かな教育の実現が可能となってきている。それを継続できなくなる恐れがあると意見が一致し、「不採択」とした。

○請願第7号 教職員定数改善をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願書（採択）

提出者＝岩手県教職員組合岩手支部  
支部長 栗田 裕年

一人ひとりの子どもたちへのきめ細かな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、教職員定数改善が必要と意見が一致し、「採択」とした。

○請願第8号 誘致工場付近住民の生活環境及び健康被害を回復することについての請願（不採択）

提出者＝極楽野環境保全の会  
会長 中村 英俊

請願者の請願を否定するものではないが、過去に実施した騒音等の調査で、請願者の居住区域は、「騒音に係る環境基準」は適用されないものの、その結果が基準以下であり、町が責任をとるべき根拠を確認することができないと判断し、「不採択」とした。

平成27年第6回雫石町議会9月定例会 議決結果等一覧 会期：9月4日(金)～9月18日(金)

議案番号	議案号	件名	議員名													採決結果			
			堂前義信	横手寿明	山崎芳邦	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀 貢	大村昭東	上野三四二		坂下栄一	加藤眞純	
議第1号	案号	雫石町個人情報保護条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第2号	案号	雫石町手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第3号	案号	平成27年度雫石町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第4号	案号	平成27年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第5号	案号	平成27年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第6号	案号	平成27年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第7号	案号	平成27年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第8号	案号	平成27年度雫石町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号	案号	平成27年度雫石町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第10号	案号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第11号	案号	平成26年度雫石町水道事業会計未処分利益剰余金の処分に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第12号	案号	平成27年度雫石町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第1号	定号	平成26年度雫石町一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第2号	定号	平成26年度雫石町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第3号	定号	平成26年度雫石町御明神財産区特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第4号	定号	平成26年度雫石町下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第5号	定号	平成26年度雫石町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第6号	定号	平成26年度雫石町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第7号	定号	平成26年度雫石町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第8号	定号	平成26年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第9号	定号	平成26年度雫石町立雫石診療所特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第10号	定号	平成26年度雫石町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第11号	定号	平成26年度雫石町水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第1号	意号	教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第2号	意号	教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発第1号	議号	私学教育の充実・発展を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発第2号	議号	教職員定数改善をはかるための、平成28年度政府予算に係る意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発第3号	議号	雫石町議会会議規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成、●…反対 ※前田議長は採決には加わりません。

## 総括歳入

**問** 町税の不納欠損が前年度より110万円、収入未済額も1,000万円減っているが、特別な理由があったのか。

**答** 26年度より滞納者に意識をもってもらうため催告書の封筒の色を変えて発送したことも効果があったと思われる。

**問** 固定資産税、入湯税<sup>\*4</sup>が年々減ってきているが、今後の対策は。

**答** 固定資産税については、土地の評価額が年々下がっているために減った。今後も適正な課税処理をしていく。入湯税については各種PR活動などで栗石町の知名度アップをし、誘客に取り組んでいく。



足湯で疲れを癒す、ケキヨキちゃん

\*4：鉱泉浴場に入浴する入湯客にかかる税金で、税額は下記のとおり。なおこの税は環境・衛生などの公的施設の整備や観光の振興等に充てられる目的税となっている。

食事提供有りの施設	宿泊	150円
	日帰り	75円
食事提供無しの施設	宿泊	75円
	日帰り	35円

ただし、修学旅行等により免除する場合がある。

## 総務費

**問** ふるさと納税額が25年度429万3千円、26年度が228万8千円と減っているが、その理由は。

**答** 25年度は大雨災害があり、ふるさと納税が開始以来一番の高額となった。27年度は9月に内容を見直し、その後の2週間だけで223件266万円のふるさと納税をいただいている。



アクセス数が増えている、ふるさと納税の紹介ページ

**問** 各種税のコンビニを使っでの納税状況は。

**答** 26年度の納付総件数7万4,591件のうち、1万632件利用されている。24年度が7,000件台、25年度が9,564件だったので、年々伸びてきている。

## 民生費

**問** 寝具洗濯等サービス事業委託料および老人日常生活用具給付費について、高齢者の方が以前受けられていたサービスがあったが、対象外になったと聞いている。事情はどうなっているのか。

**答** 在宅一人暮らし高齢者の方にサービスをしているもので、非課税世帯という基準があり、低所得の方に手厚いサービスをする運用となっている。

**問** 少子化問題が社会的にも大きな問題になっているが、出産育児一時金等繰出金の概要はどのようになっているか。

**答** 国民健康保険事業の中から一人当たり42万円を、一般会計へ繰り出している。

**問** 患者輸送バスの運行は27年度で終了となり、あねっこバスに切り替わると聞いている。幾らの金額で組み込む考えか。

**答** 現在、あねっこバスの委託料は大体3,672万円だ。患者バスは3路線運行しており、運行率等含めて計算するとおよそ1,000万円増、合計は約5,000万円以下になると見込んでいる。



町内を走っている、あねっこバス

## 労働費

**問** 雇用対策事業の新社会人セミナーの対象者は。

**答** 町内出身で町内企業、あるいは近隣市町の企業に勤務している新社会人、あるいは2年目の社会人を対象としている。平成26年度の受講者は35人で、職員の能力アップと早期離職防止の目的で講義が行われている。



27年度新社会人セミナーの様子

## 農林水産業費

**問** 肉用牛仔牛販売において、町内産の優良仔牛を町内に保留（母牛として確保）するような事業をやってみてはどうか。

**答** 町の補助事業については、増頭部分に対する補助として実施している途中なので、町内保留の補助は来年度も予定していない。

**問** 7月から林業専門対策指導員を登用しているが、現在の業務状況はどうか。

**答** 今年度は森林経営計画の策定に向け、町有林、御明神財産区有林を有効活用するため、森林簿と現状を突き合わせしながら取り組んでいる。



手入れがされている御明神財産区有林

**問** 地域水ネットワーク再生事業で行う予定の通年通水は、どうなっているか。

**答** 今年の7月21日に、雫石土地改良区から岩手県に環境用水許可申請を出した。それを受け9月2日に岩手県より東北地方整備局へ意見書の提出依頼をされている。これらのことから、10月上旬頃には許可になると見込んでいる。

## 商工費

**問** 体験型旅行商品販売促進事業委託料は、どこに委託し、どのような商品が出され、実績はどうだったのか。

**答** NPO 法人しずくいしいき暮らしネットワークに委託し、グリーンツーリズムの体験メニュー旅行商品の造成と販売促進、実施体制の整備などを行った。旅行商品の造成販売では、モニターツアーに 25 人の参加実績となっている。今後の観光振興につなげてもらう。

**問** 「2014 旅・食・文化芸能まるごとしずくいし in 東京」開催委託料について、事業の効果は、どのように検証されているか。

**答** 首都圏で商談会「食・文化・芸能まるごとしずくいし」を開催し、観光エージェント 20 社に参加してもらい、町内の観光業者が出向いて PR をした。今後、雫石町への誘客が増加すると考えている。



2014 旅・食・文化芸能まるごとしずくいし in 東京の様子

**問** 観光大使制度は怎么样了。

**答** 観光大使の任命は継続している。それぞれの立場で、できるだけお客様を送ってほしいとお願いしている。また名刺をお渡しし、できるだけ広範囲な場所で、雫石を PR してもらっている。

## 土木費

**問** NPO へ委託している道路除排雪業務は公共サービスの委託なので、町が NPO を監督指導できる。NPO が会員に委託業務を実施させる場合、契約金額を明示して双方合意の上で行うべきだが、一部個人事業者に契約金額を明示せず事業を行っているようだ。町は指導監督しているか。

**答** 不正ではないと捉えているが、指摘については真摯に受け止め、この件は当事者にきちっと話し、管理していきたいと思っている。

## 教育費

**問** 小学校の統合問題を抱えている時期に、教育委員は 1 名不在の状況だったが、委員会運営に支障はなかったのか。

**答** 前任の委員が 1 月 12 日付で任期満了となって以降、確かに 1 名不在のままであったが支障はなかった。統合については毎月のように協議しているが、地域の情報をさらに深く掘り下げて行くためには、委員は必要だと認識している。

**問** 小日谷地の埋蔵文化財保護事業の発掘では、貴重な出土物があると聞いている。終了の時期はいつ頃で、また、町民が閲覧できるような計画はあるのか。

**答** 小日谷地 1B 遺跡の、現場調査は本年度で終了した。また、大量の出土品があったが、貴重なものは一部、歴史民族資料館にも展示してある。今後の方向性はまだ決定していないが、整理して情報発信などに活用していきたい。



調査が終わった小日谷地 1B 遺跡

# 討 論

平成 26 年度の一般会計、特別会計および企業会計決算を認定することに対する討論が行われました。その要旨を紹介します。



## 賛成 上野三四二議員

東日本大震災に続き本町を襲った豪雨災害の復旧業務の激務を抱えながら、人口減少、超高齢化が進行する中、子育て支援、高齢化医療、福祉に取り組み、社会情勢の日々変化する中に対応しながら、新しい雫石のまちづくりに向かって執行されている町当局の努力が見られる。

民生、衛生、観光商工、土木、防災事業など町民の要望に応えつつ、新しい時代に向かって中堅職員を中心とした官学民協働の各種プロジェクトの取り組み、総合基本計画の推進、人口減少歯止め対策や産業振興、地方創生、地域活性化対策、小学校適正配置、学校統合の協議推進等、意欲的な取り組み姿勢が見られた。

地方経済は依然厳しく、町民生活は今だゆとりを感じていない状況にある。行政の責任として地場産業の振興を図り、若者の雇用、人口減少対策など地方創生の取り組みに職員一丸となつての行動力に期待する。

## 反対 西田征洋議員



町の行政努力は評価するものも少なくなく、他市町村からうらやましがられるものもあることは胸を張って言える。しかし、地方債残高を大きく減らしていないと、不測の事態のとき財政運用が大変になることがあの大雨被害で実証されたと思うが、それでも今までと同じ財政運用をこれからも続けるという姿勢がこの決算を通して見える。

町道除排雪事業の中で指摘してきた納得できないことが払拭できない。

さらに、網張温泉源泉新規掘削工事でも、法的に問題がないかの問いに終始曖昧な答弁であった。

特別会計では、国保、介護保険関連、後期高齢者医療で国のやり方そのものに大きな欠陥があり、町民の生活と権利が抑えられていることへの抗議の意味で反対を表明する。

御明神財産区では、町有林行政と一体となって進めないと迷走してしまうと予想され、根本的な考え方を変えなければならないと思う。

## 第 5 回

# 臨 時 会

去る 7 月 12 日行われた町議会議員選挙で当選した 16 人の議員による初議会が 8 月 4 日に開かれ、新しい議会の体制が決まりました。

初議会では、議長、副議長の立候補制による選挙を行い、議長に前田隆雄、副議長に加藤眞純を選出したほか、3 常任委員会委員、議会運営委員会委員、議会広報編集特別委員会委員の選任、盛岡地区広域消防組合議会議員、盛岡地区衛生処理組合議会議員、滝沢・雫石環境組合議会議員、岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員の選出が行われました。

### ○同意第 1 号 雫石町監査委員の選任に関し同意を求めることについて

議会選出の監査委員として、坂下栄一議員の選任に同意した。



氏 名 さかした えいいち 委員  
(62 歳 中沼行政区在住)  
任 期 平成 27 年 8 月 4 日～  
平成 31 年 7 月 30 日

### ○同意第 2 号 雫石町御明神財産区管理委員の選任に関し同意を求めることについて

雫石町御明神財産区管理委員として、原正人氏の選任に同意した。



氏 名 はら まさと 委員  
(52 歳 山津田行政区在住)  
任 期 平成 27 年 8 月 4 日～  
平成 31 年 7 月 30 日

## 新たな議会の体制決まる

平成27年8月4日に開催された臨時議会において、議長、副議長、委員会構成、広域組合等選出議員が決まりました。また、町監査委員に坂下栄一議員が選任されました。

◇前田隆雄 議長



◇加藤眞純 副議長



### 議会運営委員会【定数7人】



#### 【所管事項】

本会議に関する運営や議長から諮問された事項等に関する調査をします。

委員長	谷地 善和
副委員長	上野三四二
委員	加藤 眞純
	西田 征洋
	杉澤 敏明
	山崎留美子
	岩持 清美

### 総務常任委員会【定数6人：現員5人】

#### 【所管事項】

町の総合計画、財政、税金等に関することについて調査や審査をします。

委員長	杉澤 敏明
副委員長	西田 征洋
委員	石亀 貢
	川口 一男
	横手 寿明



## 教育民生常任委員会【定数5人】



### 【所管事項】

教育、福祉、保健、衛生等に関することについて調査や審査をします。

委員長 山崎留美子  
副委員長 山崎 芳邦  
委員 坂下 栄一  
上野三四二  
谷地 善和

### 【所管事項】

商工労政、観光、農林業、道路、都市計画、上下水道等に関することについて調査や審査をします。

委員長 岩持 清美  
副委員長 村田 厚生  
委員 加藤 眞純  
大村 昭東  
堂前 義信

## 産業建設常任委員会【定数5人】



## 広報編集特別委員会【定数7人】



### 【所管事務】

議会広報の発行等広聴広報に関することを行います。

委員長 加藤 眞純  
副委員長 横手 寿明  
委員 杉澤 敏明  
山崎留美子  
岩持 清美  
山崎 芳邦  
堂前 義信

### ◇監査委員・広域組合等議員

組織名	議員名
監査委員	坂下栄一
盛岡地区広域消防組合議会議員	岩持清美
盛岡地区衛生処理組合議会議員	川口一男・横手寿明
滝沢・雫石環境組合議会議員	杉澤敏明・山崎留美子・山崎芳邦
岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員	石亀 貢

# 町当局に4項目の意見を提言

意見

1

世帯数の多い行政区には、副区長を置くべき。



意見

2

雫石町と町国際交流協会で行われている海外派遣事業の家庭負担に、格差が生じている。一つに統一すべきでは。



意見

3

町民所得アップ、地球温暖化防止等の観点から家庭用太陽光発電、補助金の増額を。



意見

4

敬老会について、現在の開催方式になって5年になるが、参加した人、不参加の人、それぞれから意見を聞きながら改善していくべき。



9月定例会

一般質問  
町政を問う  
8議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

質問者	質問内容	掲載頁
 おおむらしょうとう 大村昭東議員	「みんなが主役」のまちづくり、脇役は誰か	14
 いわもちきよみ 岩持清美議員	(仮称) 雫石まちづくり会社の事業計画の総額は	15
 どうぜんよしのぶ 堂前義信議員	人口減少対策への取り組みは	16
 かとうますみ 加藤真純議員	プロジェクト構想にいくら投資したか	17
 うわのみよじ 上野三四二議員	若者に町内雇用の創出を	18
 やまざきるみこ 山崎留美子議員	地域おこし協力隊、森林資源の活用策に	19
 にしだまさひろ 西田征洋議員	介護保険制度改訂で、利用者の利便はどう変わる	20
 すぎさわとしあき 杉澤敏明議員	(仮称) 雫石まちづくり会社の事業効果は	21

### 議会映像配信を開始

議場に来ることができない方も、パソコンやスマートフォンから、議会映像を見ることができるようになりました。議会当日は、本会議の映像を生中継で配信しています。(録画映像は約10日後をめどに配信します。)

また、議場内には大型スクリーンが設置され、ご来場いただいた方に、審議の内容がよりわかりやすく、ご覧いただけるようになりました。

詳しくは、雫石町のホームページから、「雫石町議会 議会映像配信について」にアクセスしていただくか、下記のアドレスからご覧ください。

■公開用 URL <http://smart.discussvision.net/smart/shizukuishi/>

12月定例会は、12月上旬開会予定です。  
本会議は、通常午前10時から開会します。

# 「みんなが主役」のまちづくり、脇役は誰か

## 町長／町が、こうありたいという言葉とっています



まちづくりの  
リーダー、主役は  
町長です。主役は  
町民は脇役です。  
飾り言葉を弄するの  
はいい加減にして  
公約を履行実現せよ。

**問** 農業振興や商業のまちづくりなどの、町長マニフェスト公約、そして新聞等に発信している談話を地方創生みんなが主役のまちづくりの中で、どのように融合し、新たな施策を企画立案しているか。

**町長** 雫石町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会、及び町議会議員各位のご意見を踏まえ10月末までに雫石版総合戦略を策定する。

**問** 「みんなが主役」の町づくりの理念に基づいた七ツ森小学校区の地域づくりについて、町長はどのような施策を企画立案しているのか。

**町長** 地域で支え合う力を強化し、地区で魅力ある地域づくりへ向け、取り組んでいくことができるようにする。

**問** 町長の力説する「みんなが主役」というのは、全町民約17,500人全員が主役ということである。とすれば「脇役」は誰か。

**町長** 総合計画の理念というか、町がこうありたいという言葉である。と私は思っている。

**問** みんなが主役、私もその主役の一人。しかし、私は自分が主役だという実感がありません。主役として何をすれば良いのか全くわからない。ほとんどの町民も自分が主役だという意識はないと思う。全町民が自分が主役だという認識、自覚するためにどういう施策を実施してきたのか。

**町長** まちづくりの大きな道しるべみたいなもので、地域住民と一緒にやっていく、そういう町であってほしいと私は常々思っている。

**問** 本町には総合計画、地区の地域別計画、町有地活用モデルプロジェクト、まちづくり会社設立計画など、様々な計画の実効性を高める仕組みはどうなっているか。

**企画財政課長** 外部の有識者会議の方々に、ご意見をいただき成果を高めていく。



見直し中の第二次総合計画

# (仮称)雫石まちづくり会社の 事業計画の総額は

町長／概算で23億7,000万円



町の持ち出し  
2億円以上：  
利用料を取らない  
なんてあり得ない、  
町民に  
理解されない。

**問** 農業関係に利用するために購入した町有地 14 ヘクタールに早稲田大学と共同研究を始めて4年になるが、「(仮称)雫石まちづくり会社」を設立し、福祉を中心とした事業展開をするとの案が示されたが、内容は。

**町長** 共同研究を踏まえた基本計画と事業スキームを検討しているが、事業案として子供の教育環境、高齢者や障害者の農業生産、予防介護や健康増進の施設、地場産材を活用した高齢者のための住まい、地域エネルギーのモデル事業が示されている。第3期までの事業費合計は約23億7,000万円と試算している。

**問** 出資金の総額と町の出資額は。また、町の出資金に会社の債務負担はつくのか。

**町長** 資本金1,000万円を設定し、町の出資については240万円、構成比率24%を予定している。また、「(仮称)雫石まちづくり会社」への出資金に対する損失補償、債務保証を行う予定はないことから、債務負担を定める事はない。

**問** 施設整備のため、町の持ち出し予定額はいくらか。また、施設建設への町補助金はいくらぐらいと予想されるか。

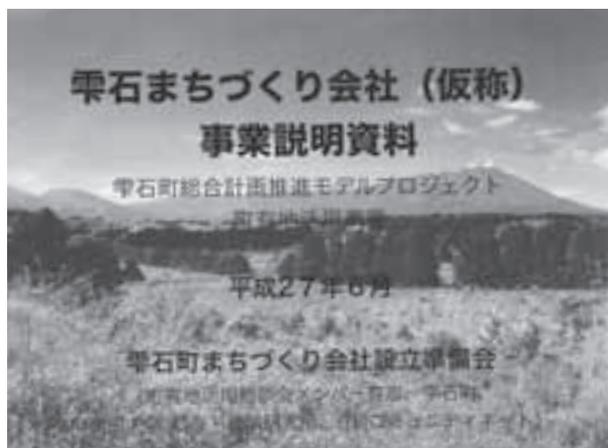
**町長** 町が行う公共インフラ整備は施工延長660メートルとした場合、道路整備に約4,200万円、上水道整備に約1,600万円、下水道整備に約5,200万円、合わせて1億1,000万円と試算。また、各施設への建設費、運営に係る町補助金の支出予定はないものと考えている。

**問** 債務保証、債務負担行為はないということだが、これからもあり得ないということか。

**企画財政課長** 「(仮称)雫石まちづくり会社」は、町の出資割合を4分の1未満とし、債務の負担行為は行わない。また、地方自治法の規定による第三セクターに関する監査委員の監査等は行わない。

## ■他にこんな質問もしました

- ・スーパーエコスクールの設計について
- ・教育問題について
- ・電気柵について



住民説明会で示された説明資料

# 人口減少対策への取り組みは

## 町長／将来にわたり活力ある地域の維持を目指す



仕事のできる  
誰もが住みやすい  
誰もが産みやすい  
結婚・出産・子育て  
安心して住みやすい  
4つのまちづくり  
を進めたい

**問** 「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、国・県・市町村が連携、一体となって人口減少対策を本格的に推進し始めた。当町でも平成27年度の重点事業として、人口減少対策に取り組んでいるが、どのような施策に取り組むのか、その施策の内容、施策の方向性は。

**町長** 現在人口ビジョン策定作業中であり、雫石町の人口の将来展望や基本目標、施策の方向性を示すところまで取りまとめている。今後25年間で10%程度の人口減少に抑え、2040年までに1万5千人程度の人口を目指す。いきいきと仕事のできる、誰もが住みやすい、安心して結婚・出産・子育てができる、特色ある地域の創造と安心して住みやすいまちづくりの4つの方向性で施策を策定し、人口減少対策に取り組んでいく。

### 地方版総合戦略の策定は

**問** 国の「まち・ひと・しごと創生法」により、自治体に対し地方人口ビジョンと地方版総合戦略の策定が求められている。地方版総合戦略は、各自治体が自主性、主体性を発揮して地域の実情に合った従来の取り組みにとらわれない効果的な施策を策定するように求められている。当町の総合戦略の施策は。

**町長** 1つ目は、産業の振興に取り組み雇用環境を整備し、地域経済に好循環を与える交流人口の増加。2つ目は、移住者による定住人口の増加へ向け、幅広い年齢層の移住希望者が定住できる受け入れ態勢の整備を。3つ目は、結婚から出産までの支援、子育て環境の充実、教育環境の充実により子供を安心して生み育てる事のできる環境の整備を目指す。当町独自の即効性の高い施策を総合的に進めていく。

### 小学校適正配置の取り組みは

**問** 平成25年に雫石町小学校適正配置基本計画を定め、小学校の統廃合に向け地区説明会等取り組みを進めてきたことは、町民も周知のことだが、今後の取り組みおよびスケジュールは。

**町長** 今後は、御所地区の統合準備委員会を中心に協議を進め、御明神地区と西山地区については、PTA役員・地区代表者と話し合いを進め統合準備委員会参加を促していく。

#### ■他にこんな質問もしました

- ・移住定住対策や空き家対策について
- ・結婚支援について
- ・住民協働の取り組みについて

# プロジェクト構想に いくら投資したか 町長／今までで2、130万円

**問** 平成23年から足かけ5年にもなるモデルプロジェクト構想に、今までいくら投資し、果たしてこの町、ここに暮らす町民のために何をもたらしたか。

いったい今後どの程度投資するつもりか。

**町長** 今までの支出合計は2,130万円で、成果は町産材活用の体制づくりを進めたほか、スーパーエコスクール実証事業の実施計画、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進めている。また、今後のプロジェクトの経費総額は現時点では見込みがつかない。

## 議決も経ずに会社設立か

**問** 平成27年7月31日町有地活用「(仮称)雫石まちづくり会社」設立に係る説明会が、議員を含めた一般町民向けに初めて実施されたが、初めての説明にも関わらず、既に社長、専務、アドバイザーなどが公表され、いつの間にか「まちづくり会社」を設立することになったという報告であった。町民の了解すなわち議会の議決も経ずに、どのような経緯で決められたのか。

**町長** 規模等具体的な内容については事業への参画の意思表示した出資者により決め、議会の承認を得た後の10月に会社設立を目指している。

**意見** モデルプロジェクトには、一番重要な条件である「町民のニーズと独創性」が欠けているようだ。要するに、それに関わる事業者だけが喜び、そこに暮らす町民に何ももたらさないような、そんな構想では賛同は得られない。まちづくり会社設立ありきの郊外拡大構想ではなく、今ある施設を有効活用し、中心街の既設インフラを賢く使うコンパクトタウン構想など再検討し、焦らずにもう一度構想を練りなおしてから、必要なら会社設立を検討すればよいのではないか。



町は国の助成があるからいい、用もないものを造るべきではない。その助成も税金ではないか！後世に付けを回すだけだ。



14haの活用モデルプロジェクト事業計画図

# 若者に町内雇用の創出を

## 町長／雇用就労支援を検討している



何としても、  
町内に若者の  
働き場がほしい！

**問** 地場産業を育成し、学卒者を引きとめ、若者を町外から呼び戻す施策や産業創出が必要である。起業者や事業者の雇用支援、人口減少歯止め対策のため雇用の「特化対策」の考えはないか。

**町長** 起業者や事業者への育成支援対策は、農業、農産加工、商工業、観光、サービス業など支援していく。学卒者など雇用就労支援は国の制度と合わせて検討を進めている。人口ビジョンは、今年10月までに総合戦略として具体的に示したい。定住促進や交流人口の拡大にも取り組む。

### 本町高齢者の介護状況は

**問** 町内の要介護者が増え、施設入所希望者が増加しているが、町内・近隣市町施設入所状況、待機者の状況はどうか。県内では、施設入所者の虐待や暴力行為があったと報道があったが、町内にこのようなことはなかったか。

**町長** 主な施設の入所、待機状況は、特養施設では日赤鷺鳴荘定員80人に対し入所者77人、うち町内者66人、待機者は52人うち町内者40人。他に、はーとぽーとなど3施設で定員129人に対し入所者124人、うち町内者82人。待機者56人うち町内者36人。介護老人保健施設のおうしゅくは入所者40人、うち町内者31人、待機45人、うち町内者34人となっている。

高齢入所者の虐待はないが、疑わしい事案が1件報告されている。

### 国体アーチェリー競技大会の準備状況は

**問** 平成28年本町で開かれるアーチェリー競技大会の準備はどうか。先の東北大会では、観客も競技者もオーロラビジョン施設が必要ではないかと感じたが、設置する考えはないか。アーチェリーの国体開催を機に町のスポーツとして普及振興する考えはないか。

**町長** 準備は順調に進んでいる。全国に本町をPRする機会でもあり万全を期していく。オーロラビジョンは、観客のみならず競技関係者にも必要で会場に設置する予定である。アーチェリー種目は、指導者に恵まれればオリンピック選手輩出も夢でなく普及支援に努めたい。練習会場はケッパレランド、他にも常設する。



8月に行われた、プレ大会の様子（町陸上競技場）

# 地域おこし協力隊、 森林資源の活用策に

町長／総合戦略の中で活かしたい



「よそ者、馬鹿者、若者」  
これって、定住化にも  
当てはまる？

ちょっと昔は村おこし。  
いつのまにか、  
町おこし↓地域おこし。  
鍵は、

**問** 外からの人材を積極的に受け入れ、新しい発想やアイデアを地域の活性化や定住化に反映させるための総務省が実施している「地域おこし協力隊」について、町の募集スタンスは。

**町長** 現段階では、設立に向け取り組みを進めている「(仮称)雫石まちづくり会社」の運営に係る業務や、4地区での地域づくり計画実施などの支援業務として数名の募集を考えている。

**問** 募集が10月ではなく、次年度以降になるという理由は。

**企画財政課長** 「(仮称)雫石まちづくり会社」の関係等で今検討している段階だが、スケジュールの予定では12月に募集を開始したい。

**問** 本町の地域問題として製材業の衰退があり、政策評価も低い判定だった。補助金がある植林などはいいが、活用部分では苦戦が続いており林業の循環策を考えなければならない。林業対策専門員もいるが、協力隊として考える用意はないか。

**農林課長** 森林資源の循環は総合計画にも掲げている部分だが、その方向については専門員や職員で現状把握といったところから携わっている。

**問** 活用がうまくできてないので評価ではC判定だったのではないか。町の施策として製材から販売までのサイクルで有益に活動を要することが求められるのでは。

**農林課長** 協力隊の枠組みにとらわれることなく、関係する森林組合含め資源循環に向けた形で取り組みたい。

## 特産品販売促進事業は

**問** 農産品のブランド化、特産化は26年度施策評価がC判定だったが、戦略的な考えを今一度見直す必要があるのでは。

**農林課長** 農産物は何らかの対策が必要ということで補助なりセミナーを講じてきた。実態を踏まえ観光と連携した中で取り組んでいきたい。



活用したい森林資源

# 介護保険制度改訂で、利用者の利便はどう変わる

## 町長／サービス低下にならないよう進めていく



今のアベノミクス  
の検証なしに  
今度は、  
新アベノミクス？

**問** 介護保険料負担増でも介護サービスは、利便性は向上するどころか軒並み引き下げられるという、加入者にとって大変な改悪になっている。町として、どう対応していくのか。

**町長** 地域包括ケアシステムを充実させながら、地域支援事業での利用サービスが低下しないように進めていく。

**問** 今でも低い介護報酬はさらに減額となり、働く人や施設運営も大変になると思うが。

**福祉課長** 実態を施設の方からも聞きながら、国に要望していきたい。

**意見** 介護保険制度は、国と町、現場とのせめぎ合い、介護全体の改善をどんどん国に要求していくことが重要だ。町も改善できるところを研究して欲しい。

### 町道除雪委託を考え直すべきでは

**問** この委託事業は、公共サービス基本法に基づくものであり、町の調査、監督権限が及ぶことは議会の論議で合意している。オペレーターは、役場とNPOとの契約金額も知らされないで、NPOにいくら経費を引かれているか分からないまま代金を渡され、中には年百万円ほど引かれている例があるという。町としては、どうするつもりか。

**地域整備課長** 町は発注元として調査、監督権限がある。オペレーターから不満が出ないように、今後ともNPOには、町も中に入ってかけあっていきたい。

**意見** NPOが除排雪事業で金が余ったなら、オペレーターにきちんと金を渡すか、役場に返すのが筋だ。県でやっている総働方式も含めて直接オペレーターと契約すれば、金銭的にすっきりすることを指摘しておく。



地域包括ケアシステムのパンフレット

# (仮称)雫石まちづくり会社の 事業効果は

## 町長／建設投資、移住者の消費、 雇用創出効果が大きい



モデルプロジェクト  
(町有地14軒活用事業)  
が当町の地方創生事業の  
一つになった。14軒活用  
には国策に沿った国費を導  
入できる事業しか  
ないとも思うが：

**問** 町は「(仮称)雫石まちづくり会社」設立に係る住民説明会を7月31日に実施した。これによると、第1期(27年10月～29年春)福祉と環境、第2期(29年度)農と環境、第3期(30年度)教育と環境に分けて実施していくとしているが、雫石版地方創生総合戦略との関連はどうなるのか。

**町長** 雫石町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、現在策定中であり、町有地を活用したモデルプロジェクトで実施される事業も定住人口の増加へ向け、幅広い年齢層の移住希望者が安心して定住できる受け入れ態勢の整備を目指す事業として、町の総合戦略に盛り込むことにしている。事業資金については、国の各種補助金や交付金などの活用を検討するとともに、地方創生先行型交付金上乘せ分を見込んでおり、8月末にその実施計画を内閣府に提出した。

**問** まちづくり会社に対する町の出資金、出資総額はどのくらいになるのか。

**町長** 資本金は1,000万円と設定し、民間主導による会社経営を進めるため、町の出資額は240万円と設定している。

**問** 第1期事業の事業効果(経済効果)をどう見込んでいるか。

**町長** 建設投資による経済効果やサービス付き高齢者住宅への移住者の消費効果、雇用創出による効果が大きい。

**問** 高齢者移住には、介護保険、医療保険等の地元負担増が懸念されているが、どう見通しを立てているのか。

**町長** 介護型サービス付き高齢者住宅(30戸)への移住者は、住所地特例により移住前の市町村が介護保険を負担することになる。自立型サービス付き高齢者住宅(70戸)への移住者が特別養護老人ホームへ入所するのは、全体の1割程度であるとされている。

**問** 「(仮称)雫石まちづくり会社」の実働部隊は、出資参画している(株)コミュニティネットということになるのか。

**町長** 実際の運営は民活、民間経営としていくので、そういう体制でいくことになる。

### まちづくり会社の主な事業

- ・介護型サービス付き高齢者住宅(自立型70戸、介護型30戸)
- ・障害者グループホーム(18戸)
- ・デイサービスセンター
- ・コミュニティ施設
- ・農業用ハウス(予防介護や就労支援用)
- ・セミナーハウス
- ・プレイパーク等

※道路、上・下水道は町が整備する。

### 他にこんな質問もしました

- ・観光客入込数の長期低落傾向をどう捉え、原因をどのように分析しているか。



# 議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



いわもち けいいち  
岩持 啓一さん  
(64歳・岩持行政区)



たかはし ひでゆき  
高橋 秀之さん  
(39歳・安庭行政区)



くりき かつひこ  
栗木 克彦さん  
(51歳・野中行政区)

## 収穫の秋に 思うこと

今年2月に「農業センサス」という調査がありました。私は、地区の統計調査員をさせていただいていることで、この調査に関わりました。

私の行政区は、5年前の調査で対象となった農家が9軒でしたが、今年は4軒となっています。町全体としても同じ傾向にあるのではないかと思います。農業を営んでいた方が高齢になったり、後継者が会社勤め等、農作業の継続が困難になり、他の方に作業を委託しているというのが実情です。私自身も、数年前から地域の営農組合に、作業をお願いしています。農地は、先祖代々受け継いでいるということで、その扱いは悩ましい問題です。

地域の農家が減ってきているのを目の当たりにして、雫石の基幹産業の農林業が、大変困難な状況になっているのを感じます。しかし、雫石は県都盛岡も通勤圏内で小岩井農場をはじめとする観光資源・温泉等も豊富にあります。この地の農業が衰退することなく、秋の夕日に黄金色に輝く稲穂をいつまでも見続けることができるように、議会からも支援をお願いします。

## 消防団員の確保を

歴史と伝統のある雫石町消防団に入団して10年になります。最初は、何となく中途半端な気持ちでしたが火災や災害、そして行方不明者の捜索など様々な活動を経験していくうちに、町民の安全・安心を守らなければならないという気持ちに変わっていきました。

雫石町消防団は、県内でも例を見ないほどの消防力を有していて、地域の安全・安心を確保するため、地域における消防防災体制の中核的存在として活動しています。しかし近年は、若い人達の入団する数が減少しているのが現状ではないかと思えます。このままでは、地域の防災力が低下するおそれがあるのではないかと思います。町や議員の皆様には消防団員の確保と維持、そして消防団の活性化に向けた協議を重ねていってほしいと思います。

最後に、これからも災害に強く、町民が安心して暮らすことができる雫石町であってほしいと思います。

## なつめ 棗杯交流大会を見て

西山地区を中心に開催された「棗杯交流大会」の少年野球の子供たちのすがすがしいプレーを見る機会がありました。

この大会は、下長山小学校スポーツ少年団と町内各チームの指導者および父母が主催し、県内外の軟式野球とバレーボールのスポーツ少年団チームを集めて開催するもので、多いときには、70チーム位が参加した時もあったと思います。

町内の参加チームのPTAや学校・地区住民等が協力し合い2日間の大会を運営します。

私がPTAだったときも、大会開催準備から片づけまで家族参加で頑張った思い出があります。

沿岸や県外から参加するチームは民宿等に宿泊し、昼食の弁当や父母・関係者の交流会開催による食材など経済効果もそれなりにあったと思います。

少子高齢化で参加チームも随分と少なくなりましたが、このような住民が協力し合い地域活性化に繋がるスポーツ交流がずっと続いてくれれば良いと思います。

来年は国体があり、雫石町はアーチェリー競技会場となりますが、これを契機にアーチェリーでの交流人口が増加して賑わいのある町になる事を期待します。

くろさわさだきち

在京雫石町友会 会員 **黒沢定吉**さん



## 心の支え—モロ会・駒ヶ岳—

私は橋場小学校で14名の仲間と複式学級で学んだ。少人数での学校生活は、自習時間が多かったり、野球などの球技で遊ぶのに三角ベースにしたり、いろいろな制約もあった。学校と農協（支所）を結んだ回線で電話の実習をしたことがある。初めて耳にあてた電話器はくすぐったい記憶がある。中学では学年が120名になり驚いたが、橋場小学校の仲間の結束は固く今でも交流が続いている。中学校時代は体操クラブ（同好会）を作り土橋幸男氏（商工会長）と一緒に頑張ったが結局部としては認めてもらえなかった。学校林での刈り払いや植林、学校で田植え～稲刈りをして米を供出したり、思い出も多いが一番嬉しかったことは、家庭の都合であきらめていた修学旅行（北海道）に父親が行かせてくれたことだ。兄は行けなかつただけにあのときの感激は今でも忘れられないし感謝している。

15才の時、中学校卒業と同時に集団就職で都会に夢をみて上京した。盛岡の桜木小学校に集合し、大勢の人（家族・親戚・仲間）に見送られての出発だった。食べる仕事ならどんな時代でも将来性があると思選んだ仕事は精米店。当時は米は配給米の時代で重要な仕事だった。米のご用聞き、精米、配達などをしたが、農家できたえた体力で30キロの米を自転車で配達するのに苦労はしなかつ

た。配達先の銭湯で親しくなり手伝うと無料で入浴もできた。また三助と言って背中を流す仕事もあった時代で、（女性）客の背中を流させてもらったこともある。当時は何も感じなかったが今思うと貴重な経験だった。

その後、兄の影響でクリーニング業に移り、技術を磨くために4、5店経験し技術を習得した。クリーニングの技術は今でも自信がある。そして「どんな社会変化があってもなくてはならない仕事」を追求し、たどりついたのが足場組み立ての専門会社だった。そこに就職して十分経験を重ねた結果、50才になって独立することができた。その後会社も順調に拡大し現在に至っている。

ふるさとで活躍している同級生には本当に感謝している。モロ会や祝い事の企画をしていつもあたたかく迎えてくれる。昔の仲間との歓談は絆が深まり心の糧となっている。またそれが楽しみで毎回出席する様にしている。私が想うふるさとの象徴は駒ヶ岳であり、春先の残雪で作られる駒の姿は忘れないし思い出すたびに勇気ももらえる。安栖に住む黒沢二美さんは私を育ててくれた恩人であり、ひとり暮らしを案じながらも、会うのを楽しみに時々帰省している。



26年度新春全体会議(前列左から3人目が筆者)



同級生との還暦祝い(2列目中央が筆者)

昭和18年生まれ。橋場小学校—御明神中学校—(就職)—戸田精米店—クリーニング店(4~5店経験し技術習得)—ホリー(株)—(株)東京ビケ足場—(株)両毛ビケ足場(代表取締役)。  
現在はL&Rグループ7社の総帥。23歳で職場結婚。二女あり。

# 栗石町へようこそ



## お嫁さん

## お婿さん



夫の浩三さん (39歳)  
 長男の翔くん (5歳)  
 長女の柚希奈ちゃん (1歳)

ご縁があり、町外から迎えられた

「お嫁さん」

くまがい ゆうこ  
**熊谷 優子さん** (31歳 岩泉町出身)  
 (旧姓: 松田、林行政区在住)

**Q- お二人の馴れ初めは?**

- 共通の友人を通じて知り合いました。

**Q- 栗石町に暮らしてみてもいかがですか?**

- スポーツ行事や様々なイベントが盛んで、人と人とのつながりが強い魅力的な町ですね。小児科があり豊かな自然環境に囲まれ、安心して子育てできる事に幸せを感じています。

**Q- 町へ望むことは?**

- 子どもたちの笑い声や笑顔が絶えることなく、また、それを温かく見守ることができる環境づくりを望みます。

## 議会の主な動き 7月~11月

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 7月 31日 議員全員協議会                            | 18日 議員全員協議会<br>産業建設常任委員会           |
| 8月 4日 第5回臨時議会                             | 19日 敬老会                            |
| 9日 よしやれ祭                                  | 10月 2日 議員全員協議会<br>秋田県仙北市議会との交流懇親会  |
| 17日 政務調査会                                 | 5日 岩手地区議会議長会県内実行運動                 |
| 18日 遠野市議会「広報視察」来庁                         | 8日 議会広報編集特別委員会                     |
| 19日 産業建設常任委員会                             | 13日 岩手地区議会議長会中央実行運動                |
| 26日 栗石町戦没者追悼式<br>議会運営委員会                  | 15日 議会広報編集特別委員会                    |
| 28日 議員全員協議会<br>教育民生常任委員会                  | 19日 政務調査会                          |
| 9月 4日 9月定例会(18日まで)                        | 20日 第83回町村議会広報研修会<br>(21日まで)       |
| 8日 議会広報編集特別委員会                            | 22日 千葉県富里市議会「行政視察」<br>来庁           |
| 9日 各常任委員会                                 | 26日 町民と議会との懇談会<br>(御所公民館・林公民館)     |
| 10日 各常任委員会・全体会<br>議員全員協議会                 | 27日 町民と議会との懇談会(御明<br>神公民館・篠崎公民館)   |
| 13日 栗石町総合防災訓練(栗石地区)                       | 11月 2日 町民と議会との懇談会<br>(西山公民館・駅前集会所) |
| 17日 議会運営委員会<br>政務調査会/議員全員協議会<br>産業建設常任委員会 |                                    |

## 情報公開

### ●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳(7月~9月)】

月	葬祭費		お祝い、会費	
7月	1件	20,000円	2件	8,000円
8月	0件	-円	2件	9,000円
9月	0件	-円	0件	0円
小計	1件	20,000円	4件	17,000円

## 今月の表紙

▶監督の新里浩三さん(上春木場行政区)と、コーチの藤原美優さん(まがき行政区)



栗石ドリームガールズ(ソフトボウスポーツ少年団)代表: 藤村裕幸さん

6年生3人が新人戦に出場できないため、滝沢市のチームと連合チームを結成。合同練習で技術と交流を深め、県大会での勝利を目指している。

「町内でチームができて、中学校でも続けてほしい。」と新里監督(写真左)。藤原コーチも大学が休みの時は教えに来てくれる。元気いっぱい、笑顔が絶えないスポーツ少年団です。団員は随時募集中。詳しくは町体育協会(☎692-5030)までお問い合わせください。

## ■編集デスク

今年8月末、我が家の庭で猫5匹が円陣を組んでいました。その中にリスの赤ちゃん(眼が開いてなく毛も生えてない)と蛇がいました。猫たちは蛇を威嚇していたようです。その赤ちゃんを保護し、哺乳瓶で育て奮闘して早1カ月が経ちました。今では眼も開き毛も生え、私を親と思っているのか呼べば手に乗って身体にまとわりついて遊んでいます。横でラブラドルの愛犬が怪訝そうな顔をしています。我が家は自然の動物園です。

さて、7月の選挙で定数が4人減の16人になり若手(?)になってしまい、前期で卒業したはずの議会広報特別委員会に返り咲きました(苦笑)。

新しい布陣...とは言え、新人は一人だけですが気持ちを新たに、より読みやすく、より親しまれる広報づくりに努力してまいりますので、宜しくお願い致します。

(議会広報編集特別委員会委員長 加藤真純)